

## 朝酌川親水護岸で Graduation ceremony !!

～島根大学4年生のみなさん R3.3.19～

島根県松江県土整備事務所

令和3年3月19日に島根大学で行われた卒業式の後、思い出のある朝酌川に卒業生のみなさんと送別する後輩のみなさんが集まり、語り合っていました。

思わぬ光景に出くわした私（河川監理員）もビックリでしたが、物怖じせずに突撃取材をしました！



Q. どうしてみんなここに集まっているの？



A. 大学にも近く風景が綺麗なので、ここに来ることにしました

Q. 朝酌川や親水護岸の思い出って何？



A 山口稜さん（佐賀県出身：4月から広告代理店勤務）

「卒業論文を書き、教育に活かすため朝酌川のメダカや他生物などピオトープ（生物生息空間）を研究しました。」

矢崎尚子さん（広島県出身：4月から広島市役所勤務）

「よく散歩に来ていました。就職活動でなかなか思うようにいかない時に、散歩してリフレッシュしていました。」

鍛治虎之介さん（江津市出身：4月から松江で会社勤務）

「二十歳の誕生日に思い出作りのため、4月で寒かったけど親水護岸に降りて泳ぎました」

卒業、就職 みなさんおめでとう！  
私（河川監理員）感激してウルウルしちゃいました😊  
一緒に写真を撮りたいと言ってくれた石橋君！おじさんは嬉しかったぞ♪



### まめ知識



- ・ピオトープとは…生物の生息場所を意味するドイツ生まれの概念である。ピオトープは生物学の用語であるが、ドイツ連邦自然保護局ではピオトープを「有機的に結びついて生物群。すなわち生物社会（一定の組み合わせの種によって構成される生物群集）の生物空間」と位置づけている。
- ・親水護岸とは…川の流水等による洗堀作用から、河岸を守るための重要な河川構造物の一つである護岸を人々が水に親しみ楽しめるようにした要素が含まれたもの。市内の県管理河川では、朝酌川の他7河川に親水護岸が構築されている。